

臓器移植体制専門委員会

目 次

臓器移植体制専門委員会調査研究報告書

- I. 目 的
- II. 平成 17 年度の計画と実施結果
- III. 平成 18 年度以降の計画
- IV. ま と め

臓器移植体制専門委員会

(平成 17 年度)

臓器移植体制専門委員会調査研究報告書

広島県地域保健対策協議会臓器移植体制専門委員会

委員長 浅原 利正

I. 目 的

本委員会の目的は先進国の中でも際立って進まない脳死臓器移植を推進するために、広島県において末期臓器不全患者の把握のための実態調査を行い、併せてスムーズな臓器提供体制の構築を図るため活動することである。

II. 平成 17 年度の計画と実施結果

1) 委員会の開催

- (1) 6月20日：今年度の計画の再確認と実施のための提案
- (2) 11月28日：脳死臓器移植の現状、特に脳死臓器移植法改正と臓器提供啓蒙活動への対応、それに意思表示カードの配布、院内提供対象事例の調査
- (3) 1月27日：高校訪問講演と県から委嘱された院内コーディネーターの活動支援の対応、その他提供施設訪問、意思表示カードの配布
- (4) 3月16日：高校訪問講演の具体化、意思表示カードの有効な配布法

2) 透析施設実態調査

県内96施設を対象にこれまで実施してきた「広島県下の人工透析・腎移植実態調査」を行った。調査結果はまとめて広島医学に投稿予定である。

3) 末期肝不全の実態調査

今年度は末期肝不全の実態調査を行い、肝移植対象患者の把握を試みたが、アンケート回収率が悪く、参考資料にしかならなかった。

4) 臓器提供施設訪問

計画をしたが、国会での脳死臓器移植法改正案の上程の時期に実施するのが適当ということで、平成18年度に計画を移した。

- 5) 高校での訪問講演（臓器提供への理解のため）
平成18年5月15日、祇園北高校を訪問して臓器移植に関する講演を実施し、その目的について中国新聞に報道された。

III. 平成 18 年度以降の計画

1) 提供施設訪問

平成17年度に積み残した提供施設の訪問を梶川病院、安佐市民病院、県立広島病院、呉医療センター、中国労災病院、広島総合病院、東広島医療センター、広島市民病院、広島赤十字病院などを計画している。

2) 高校訪問講演

平成17年度に計画した臓器移植に関する高校訪問講演を専門委員が中心となって継続して実施する。

3) 意思表示カードの配布

企業の健康保険組合（麒麟麦酒など）、政府管掌健康保険、国民健康保険（福岡市、滋賀県）などが開始した臓器提供を「保険証へ意思表示」のような進んだ仕組みを行政（広島県、広島市）に働きかけて、意思表示カードの所持率向上を目指す。

4) 臓器提供のシミュレーション

臓器提供施設における臓器提供シミュレーションを計画する。

5) 院内の提供対象事例の調査

県より委嘱された院内コーディネーターのいる病院を対象に臓器提供対象事例の調査を実施する。

IV. ま と め

議員立法で上程される計画のある脳死臓器移植法改正案の承認に的を絞って活動を集中して実施する。そして、広島県においてより進んだ臓器移植体制の構築を目指す。

広島県地域保健対策協議会臓器移植体制専門委員会

| | | |
|-----|-------|------------------|
| 委員長 | 浅原 利正 | 広島大学大学院医歯薬学総合研究科 |
| 委員 | 石川 哲大 | 県立広島病院 |
| | 板本 敏行 | 広島大学病院 |
| | 河野 修興 | 広島大学大学院医歯薬学総合研究科 |
| | 高杉 敬久 | 広島県医師会 |
| | 谷川 攻一 | 広島大学病院 |
| | 茶山 一彰 | 広島大学大学院医歯薬学総合研究科 |
| | 平田 佳子 | 広島市社会局保健部 |
| | 堀江 正憲 | 広島県医師会 |
| | 堀益 弘明 | 広島県福祉保健部保健医療総室 |
| | 増井 伸明 | 広島県福祉保健部保健医療総室 |